

BASED ON THE BEST-SELLING BOOK
**'SID VICIOUS: NO ONE
IS INNOCENT'**



シド・ヴィシャス(セックス・ピストルズ)の死から30年...
ロック史に刻まれた、衝撃的事件の真相とは?
シド研究の第一人者、アラン・パーカーの
23年に及ぶ調査の集大成ドキュメント!

フー・キルド・ナンシー

WHO KILLED NANCY

A film by Alan G. Parker

IPSO FACTO FILMS PRESENTS A BILL & BEN PRODUCTION IN ASSOCIATION WITH DOUBLE D PRODUCTIONS AND MOXIE MAKERS
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY NICK RUTTER EDITOR BILL JONES LINE PRODUCERS MARGARITA DOYLE HAYLEY MANNING EXECUTIVE PRODUCERS MARK VENNIS GARY PHILLIPS
EXECUTIVE PRODUCERS IAN DAVIES SUSAN DOUGLAS PRODUCERS BEN TIMLETT CHRISTINE ALDERSON DIRECTOR ALAN G. PARKER © MOXIE 2 LTD



MOLINARO

MOVIEHOUSE

IPSO FACTO

DOUBLE D



SODA

www.whokillednancy.com



HOTEL

CHELSEA

セックス・ピストルズとシド&ナンシーの2年

1977.2.18 シド・ヴィシャス、セックス・ピストルズに加入。
3 ナンシー・スパンゲン、ロンドンに出現。シド恋に落ちる。
10.28 セックス・ピストルズ「勝手にしやがれ!!」リリース。
1978.1.3 セックス・ピストルズ、初のUSツアーでアメリカ上陸。
1.17 セックス・ピストルズ、USツアーで崩壊状態に。
8.23 シドとナンシー、NYチェルシーホテルにチェックイン。
10.12 チェルシーホテル100号室でナンシーの遺体発見。
10.13 シド・ヴィシャス、第二級謀殺容疑で逮捕。
1979.2.2 シド・ヴィシャス、薬物の過剰摂取により死亡。

1978年10月12日、ニューヨークのチェルシー・ホテル100号室にて女性の刺殺体が発見された。殺されたのはナンシー・スパンゲン、元売春婦であり、ヘロイン中毒者であり、世界で最も有名なパンクロック・バンド、セックス・ピストルズのベーシスト、シド・ヴィシャスのガールフレンドである。殺人の容疑で逮捕されたのはシド・ヴィシャスだった。しかし保釈期間中の1979年2月2日、シドはヘロインの過剰摂取により死亡、事件の捜査は容疑者の死とともに打ち切られた…。

「誰がナンシーを殺したのか？」

「シドは本当に殺ったのか！？」

以後シド&ナンシーの死はロックの伝説と化し、セックス・ピストルズとパンクロックに暗い影を落としてきた。この物語は1986年アレックス・コックス監督によって「シド・アンド・ナンシー」として映画化もされている。そして1985年、シドの母であるアン・ベヴァリーが作家のアラン・バーカーに連絡、息子の無念を晴らすために事件をもう一度調べて欲しいと依頼。これにもとづきバーカーは独自の研究と調査を重ねて今まで3冊もの本を執筆している。1996年9月、アラン・バーカー宛てで、息子の無実を証明して欲しい旨を記した一通の手紙を残し、シドの母が自殺。以後バーカーは事件の真相究明のためにその人生を捧げてきたと言っても過言ではない。その調査の集大成として発表された最新のシド・ヴィシャス評伝が「シド・ヴィシャス ノー・ワン・イズ・イノセント」であり、それを原作としてアラン・バーカーが自身初となる監督もつとめたのが本作「フー・キルド・ナンシー」である。監督として長いキャリアを誇るグラミー賞受賞者ドン・レッツにアドバイスを受けながら、182人もの関係者にインタビューを敢行、ニューヨーク市警察の捜査資料を洗い直し、チェルシーホテル100号室で一体何が起こったのかを探る。

“30年の時を経て語られるパンクロック史上最大のミステリー、シド&ナンシー。”—The Guardian

“シド&ナンシーの死はロックの伝説と化し、激しい議論が交わされてきたが...”—The Telegraph

“結局は、シドがこの不正な出来事の犠牲者だったと言えるのではないか。”—Daily Mail

“このドキュメンタリーは、今まで誰も見たことのない視点、角度からこの事件を描いている。おかしく、驚きに満ちていて、知的。しかし、何よりも、このドキュメンタリーは'Bollocks'なしで事実のみをあなたに知らせる。★★★★★。”—Brit Flicks

“史上最高のロックンロール・ドキュメンタリーの一つだ。”—Andrew Loog Oldman (Original Manager of the Rolling Stones)

“この映画を実現できた(できる)のは世の中に一人しかいない。その人物はアラン・バーカー、シドが最も近かった本物の伝記作家。誇りに思う。”—Malcolm McLaren (Original Manager of the Sex Pistols)

“6人の指紋が部屋で発見されたにもかかわらず、その誰も取り調べを受けていない。さらに部屋にあったとされる大金の行方も分かっていない。警察の捜査がいかにいかげんなものだったかが分かる。”—Film 4

“「シドは間違いなく殺していない」というのが本作の正直なタイトルだろう。”—Clash Magazine

シド・ヴィシャス
没後30年追悼作品

**WHO
KILLED
NANCY**

フー・キルド・ナンシー



監督・脚本：アラン・バーカー／製作：クリスティン・アルダーソン、ベン・ティムレット／撮影：ニック・レイ・ラター／編集：ビル・ジョーンズ／音楽：バズコックス、スティヴ・ディグル、リッキー・ウォーウィック、ネオン・レオン
 出演：グレン・マトロック、ドン・レッツ、スティヴ・ウォルシュ、ジョン・ホルムストロム、アラン・ジョーンズ、アイリーン・ボーク、ヘリン・キラー、スティヴ・ウォルシュ
 2009年/イギリス映画/96分/ビスタ/カラー/ドルビーデジタル 提供：キングレコード/配給：キングレコード+iae ©Moxie 2 Ltd 2009

KING RECORDS iac

『フー・キルド・ナンシー』の原作、シド・ヴィシャス研究の集大成、
ついに日本発売！

『シド・ヴィシャス ノー・ワン・イズ・イノセント』アラン・バーカー著／新井崇嗣訳
 ●A5版●288ページ●定価¥2,310(税込)●発売中●発行：シンコーミュージック・エンタテイメント

『フー・キルド・ナンシー』DVD
限定のSPECIAL BOX仕様&通常版で

6.10発売決定!!

**4月11日(土)より
レイトロードショー!!**

整理番号制
※デジタル上映

JR渋谷駅西口下車、歩道橋で246
を越えJTB正面のさくら通り上がる
シアターN渋谷
 www.theater-n.com
 03-5489-2592

